

主治医氏名		印				
主治医以外の 担当者氏名	担当医師	管理栄養士		患者番号	@PATIENTID	
	看護師長	リハビリテーション部				
	担当看護師			【患者または代理者同意署名】		
病名		大腿骨頸部骨折		年 月 日	氏名	
症状		股関節痛・歩行困難・その他（ ）		*代理署名の場合 患者との続柄 （ ）		
特別な栄養管理の必要性		（ あり ・ なし ）				
入院治療の目標（達成目標）		歩行が安定し、セルフケアできる 退院後の生活の注意点が理解できる				
推定入院期間	入院日（ / ）	手術当日（ / ）	手術後1日目（ / ）	手術後2日目（ / ）	3～9日目	10～15日目（転院・退院）
注射 ・ 内服	入院中に薬剤師が薬剤指導を行い、薬剤師による注射薬・内服薬についての説明があります。	手術前に点滴や注射をすることがあります。手術後、抗生剤の点滴をします。手術室より痛み止めの点滴が持続的についてきます。	抗生剤の点滴をします。 	抗生剤の点滴をします。点滴終了の予定です。	特にありません。 _____→	
	お薬手帳の確認を行います。 	手術当日医師の指示により看護師がお渡しする薬だけを飲んで頂きます。	手術前に飲んでいた飲み薬を再開します。痛いときには痛み止めの薬がありますので、我慢をしないで看護師に声をかけてください。	夕食後から血栓予防の薬を飲んで頂きます。 _____→		
検査	手術前の検査（血液、レントゲン、心電図など）を行います。	手術室で採血をします。 	採血をします。	特にありません。	採血をします。レントゲンを撮ります。 	採血をします。レントゲンを撮ります。 
処置	血栓予防のために弾性ストッキングの装着を行います。	_____→				
教育 ・ 説明 ・ 指導	病棟の設備や手術前や後の流れについて説明を行います。手術前日の午後に麻酔科の受診があります。【手術必要物品】T字帯・水のみ又はストロー	手術後は体温、血圧、脈拍、傷口、足の動きの観察などを行います。痛み止めの点滴が入ってくる際は看護師が使い方を説明します。 	退院まで、体温、脈拍、血圧、傷口の観察、足の動きなどの確認を行います。転倒予防について説明します。また、自宅での生活状況を確認しながら、日常生活上の注意点を説明します。	足の痛み、腫れ、熱感が強くなったり、傷口から浸出液が出てきた時などは看護師に伝えて下さい。 		
	ベッド上で安静になります。 	_____→		_____→		
安静度		車椅子に移動することができます。移動する時には看護師がお手伝いをします。	痛みに応じて歩行可能となります。歩行する際は看護師と一緒に付き添います。 _____→			
食事	手術前日の24時以降は飲食禁止となります。	麻酔科の指示により水分制限があります。手術の日は食事はできません。手術後おなか動き始めたら、お水が飲めます。看護師がお手伝いします。	朝から食事が出ます。医師の指示がなければ食事の制限はありません。 _____→			
排泄	ベッドの上での排泄となるため、尿の管をいれるか、尿器などで対応します。	尿の管が入っています。排便があるときはベッドの上で排泄となるので、看護師がお手伝いします。	尿の管が入っています。尿の管を抜く場合もあります。	尿の管を抜く予定です。トイレに行くときには車いすでお手伝いをします。	車椅子か歩行器でトイレにいきます。 	
清潔	身体を拭きます。	特にありません。	陰部を洗い、体拭き、病衣の交換をします。 	特にありません。	シャワー浴になります。 _____→	
リハビリ	特にありません。	特にありません。	特にありません。 	リハビリが開始となります。 	リハビリの様子で歩く練習をしていきます。	転院・退院までリハビリを実施していきます。 
その他	なし。	なし。	転院の調整を行っていきます。	転院の調整を行っていきます。	転院先が決まり次第お伝えします。家族の方は転院日病院に来院できるよう調整をお願いします。	転院先からお迎えの車か、自家用車での転院となります。自宅退院の場合は10時頃までに退院となります。